

消防だより

平成29年3月1日発行

中濃消防組合
 消防本部 総務課
 〒501-3906 関市西欠ノ下5
 TEL (0575) 23-9090
 FAX (0575) 22-9535
 消防テレホンサービス
 TEL (0575) 24-8814
 救急医療案内
 TEL (0575) 23-3799

警防活動訓練実施!



煙が充満する建物へ進入し、要救助者を救出する隊員たち

目次

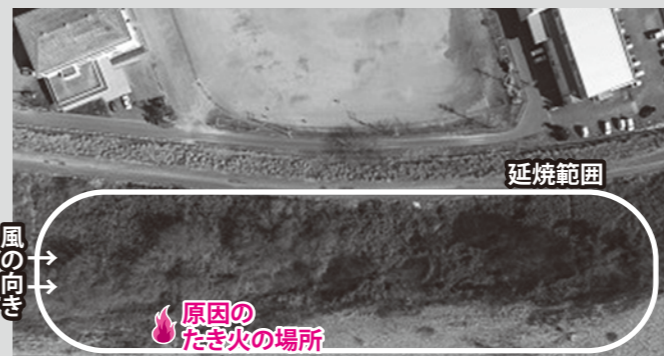
- P2…平成28年 消防統計
火災・救急・救助
ホームページ『消防図鑑』開設
- P4…あなたの家の防火対策
『いざ』というとき使えますか?
指令センターからのお知らせ
- P6…あれこれ 消防あ・ら・か・る・と
- P8…春季火災予防運動
消防クイズ
拍子木

中濃消防組合の全8署所が集まり、火災防
 ぎ訓練を実施しました。
 今回の訓練は、「2階建ての住宅から火災
 が発生し、逃げ遅れた人がいる」との想定で、
 1チーム6名の隊員で活動しました。
 家族などの関係者から情報を聞き出すと
 ともに、建物内へ進入するためのホースを延
 長します。その準備が整えば屋内の温度を確
 認、二次災害の防止を図りながら進入し、
 連携して逃げ遅れた人を救出します。これら
 一連の活動を、迅速に限られた人員で行わ
 なくてはなりません。
 火災現場は、何百回あっても同じものは
 一つとしてありません。状況に応じて最善を
 尽くせるよう、今後も訓練に取り組んでい
 きます。

平成28年度全国統一防火標語

消しましょう その火その時 その場所で

春季火災予防運動 3月1日(水)~3月7日(火)



左の写真は実際に当組合管
 内で起きた火災の鎮火後の写
 真です。
 たき火の炎が強風にあおら
 れ、瞬く間に土手の枯草に燃
 え広がり、最終的には約57
 00平方メートルもの範囲に
 延焼拡大しました。消防団員
 の協力もあり、なんとか消火
 できたものの、乾燥した空気
 と強風により、残火処理に長
 い時間を要しました。

たき火による火災に 気をつけましょう



ここ数年、たき火は中濃消
 防組合管内の火災原因のトッ
 プです。とくに空気が乾燥し
 ている上に風が強い日が続
 き、火災が発生しやすいこの
 時期には、「枯草を焼却中に風
 にあおられて燃え広がり、自
 分では消せなくなってしまう
 た」というケースが後を絶ち
 ません。
 たき火を行う場合は次のこ
 とに注意しましょう。

- ・火災警報発令、または強風時
は中止する。
- ・消火用具(水バケツ等)を必
ず準備しておく。
- ・焼却中はその場を絶対に離
れない。
- ・残火処理は確実にを行う。

火災とまぎらわしい大がかりな
 たき火を行う場合は、誤報による
 出場を防ぐため、事前にお近くの
 消防署・分署・出張所へ届出を提
 出してください。
 届出様式は中濃消防組合ホー
 ムページか
 らダウンロードできま
 すよ。



よく読んで保存しましょう

拍子木

大型ショッピングセンターのイベントにみらい隊が来る
 というので、3歳になったばかりの娘と参加しました。他の
 子どもたちの真似をして腕を地面に擦り付けたり、寝転ん
 で「ロロ転がったり、ただ楽しんでるようでしたが、帰
 宅後家族に「腕に火がついたらどうするの?おしりに火が
 ついたらどうするの?」と質問し、誇らしげに自分で動い
 て見せていました。その記憶はイベントから数か月が経っ
 て現在でも残っているらしく、思い出す度に家族に教えて
 くれます。子どもの物事を吸収する力と記憶力の良さに
 驚いたと同時に、子どもに対する防火教育の重要性を改
 めて実感しました。
 みらい隊と中濃消防組合は、
 これからも未来を担う子ども
 たちへの熱い防火指導を続けて
 いきます。



消防クイズ コーナー



【問題】
 中濃消防組合ホームページに開設された、昔の消防車
 などが見られる新コーナーの名前は何でしょう?

- 〈応募資格〉 中濃消防組合管内(関市・美濃市)にお住まいの方
- 〈応募要領〉 はがきに、答えと住所・氏名・年齢・電話番号と消防
だよりや中濃消防組合へのご意見・ご要望を記
入の上、下記のあて先までお送りください。
- 〈あて先〉 〒501-3906 関市西欠ノ下5番地
中濃消防組合消防本部 総務課
- 〈締め切り〉 平成29年3月22日(水) 当日消印有効
- 〈賞品〉 正解者の中から抽選により賞品を進呈します。

なお、発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
 たくさんのご応募をお待ちしています。

救急 組合発足以来、過去最多の出場件数

救急出動件数(1日平均出動件数 11.5件)

出動件数	火災	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
関市	3,390	26	9	353	40	25	581	10	26	2,068	252
関地域	2,684	22	1	308	30	17	451	9	20	1,606	220
洞戸地域	134		6	10	1	2	17	1	1	85	11
板取地域	102	1	1	7		1	25		2	59	6
武芸川地域	225	2		11	3	2	33		2	162	10
武儀地域	170	1	1	17	6	2	32		1	105	5
上之保地域	75					1	23			51	
美濃市	783	3	8	74	9	4	105		2	486	92
その他	19			11	1					7	
合計	4,192	29	17	438	50	29	686	10	28	2,561	344

救急出場件数は、組合発足以来最多の4,192件で昨年に比べて57件増加、搬送された方も3,951人で91人増加しました。救急出場件数を種別ごとにみると、急病が最も多く全体の61%を占め、次いで一般負傷17%、交通事故11%の順となっています。また、搬送された3,951人のうち、65歳以上の高齢者の方は2,495人で63%を占めています。

救助 昨年に比べ出場件数減少、活動件数は増加!

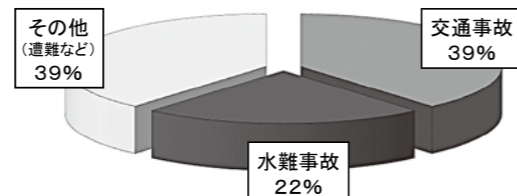
救助活動状況

出場件数	活動件数	交通事故	水難事故	その他	
関市	44	21	9	4	8
関地域	30	15	7	1	7
洞戸地域	7	5	1	3	1
板取地域	4	1	1		
武芸川地域					
武儀地域	1				
上之保地域	2				
美濃市	14	9	2	3	4
高速道路	3	1	1		
その他	1				
合計	62	31	12	7	12

救助の要請を受け出場した件数は62件で、昨年に比べて3件減少しました。このうち、実際に救助活動をした件数は31件で10件増加しました。

救助活動の件数を種別ごとにみると、交通事故が12件で最も多く、昨年に比べて3件増加しましたが、水難事故は7件で昨年に比べて5件減少しました。

災害種別割合



平成28年 消防統計 火災 救急 救助

火災 昨年より9件減! 死傷者は0人!!

地域別火災発生状況

合計	建物	林野	車両	その他	損害額(千円)	
関市	33	14	3	4	12	2,268
関地域	28	12	3	3	10	1,952
洞戸地域	0					0
板取地域	1				1	0
武芸川地域	3	2			1	0
武儀地域	1			1		316
上之保地域	0					0
美濃市	6	3		2	1	2,093
合計	39	17	3	6	13	4,361

火災件数は、39件で前年に比べ9件減少しています。

また、火災種別ごとにみると、建物火災17件、林野火災3件、車両火災6件、その他の火災が13件発生しました。前年に比べ車両火災が4件増加し、建物火災が8件、林野火災が4件、その他の火災が1件減少しています。

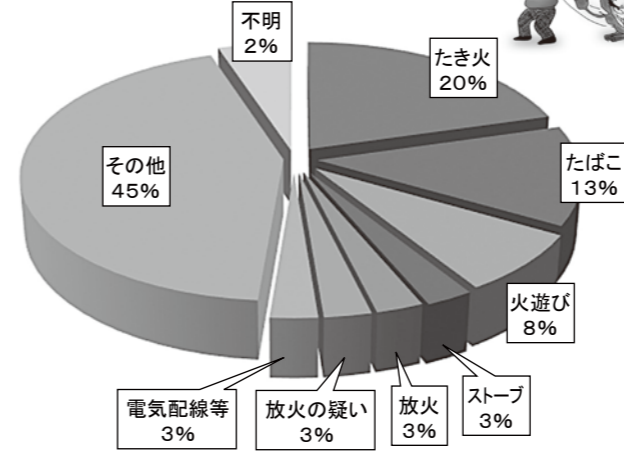
損害額は、4,361千円で、前年に比べ233,973千円減少しました。

また、中濃消防組合発足以来初めて、火災による死者、負傷者はありませんでした。

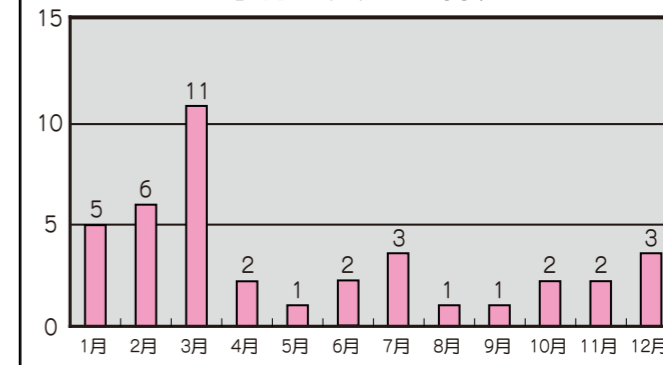
火災件数を月別にみると、3月に11件と最も多く、次いで2月に6件、1月に5件発生しました。本年は、春に空気が乾燥した状態が続く火災が多く発生しています。

出火原因では、「たき火」が8件、次いで「たばこ」が5件、「火遊び」が3件の順となっており、過去においても「たき火」、「たばこ」は出火原因の上位を占めています。

原因別割合



月別火災発生件数



指揮車

平成28年

昭和46年



水槽付消防ポンプ車

平成28年

昭和46年



救急車

平成28年

昭和46年

消防車両の今と昔。消防図鑑ではこんなレアな写真を見ることが出来ますよ!

ホームページURL・QRコード
<http://www.chunou-119.jp/>



消防についてみなさんにもっと知ってもらうため、中濃消防組合ホームページに、新たなコーナーが誕生しました! その名も「消防図鑑」!

このコーナーでは、左のような当組合の歴代の車両や庁舎の写真、訓練の様子など、消防の昔と今がわかる写真を、どんどんアップしていきます。

「こんな写真が見たい!」「消防のこんなところが知りたい!」「こんなコーナーを作ってほしい!」などの意見があれば、ホームページ内のお問い合わせフォームからごんごんご連絡ください!



トップページの「消防図鑑」をクリック!!

中濃消防組合 ホームページに「消防図鑑」開設

指令センターからのお知らせ

携帯電話・スマートフォンのGPS機能の有効性

今や携帯電話やスマートフォンが普及し、固定電話だけではなく、屋内屋外問わず色々な場所から119番通報ができる便利な世の中になりました。しかし、同じ119番通報ですが、固定電話と携帯電話には大きな違いがあります。119番通報を受ける指令センターには、「位置情報通知システム」という機能があり、固定電話での通報は、通報受付と同時にほぼ正確な位置情報を把握することができますが、携帯電話やスマートフォンでは、まず受信基地エリアのおおまかな位置(300m~数km)が通知され、そこから通報者との会話で住所や目標物を聞き出し、災害場所を特定します。しかし、実際近くに目標物が無かったり、旅行先などで土地勘がなかったりと、今自分が居る場所が分からないといった通報がいくつもあり、そういった通報では場所を特定できず消防車や救急車を出場させることができません。

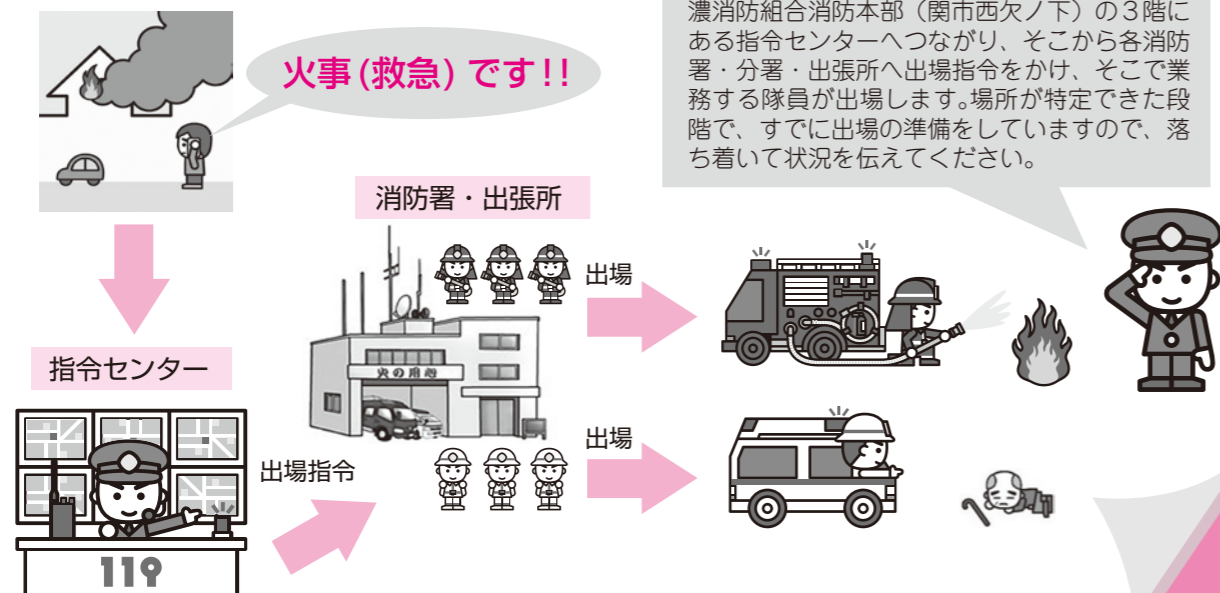
そんな時に、携帯電話やスマートフォンのGPS機能をONにすることで、通報時に自分が居る場所を知らせることができます。ただGPS受信でも10m~50m程度の範囲までしか絞ることができませんが、全く目標物が無いへき地や山岳等などではGPS機能は大変有効です。

指令センターは、災害場所を特定した時点で最寄りの消防署へ出場するように指令をかけるので、場所の特定が早くなればもちろん救急車も早く出場することができます。

GPS機能は、電池の消耗などの理由でOFFにしがちですが、いざという時のためにGPS機能を有効(ON)にすることをオススメします。(詳しい操作方法は各通信会社へお問い合わせください)



【119番通報から出場までの流れ】



※関市・美濃市内での119番通報は、全て中濃消防組合消防本部(関市西欠ノ下)の3階にある指令センターへつながり、そこから各消防署・分署・出張所へ出場指令をかけ、そこで業務する隊員が出場します。場所が特定できた段階で、すでに出場の準備をしていますので、落ち着いた状況を伝えてください。

あなたの家の防火対策『いざ』というとき使えますか？

全国的にも火災が発生しやすいシーズンである今、あなたの家の防火対策を見直してみましょう！
「住宅用火災警報器や消火器が設置してあるから大丈夫！」ってわけじゃないんです！！

ほこりによって正常に作動しない場合もあるため定期的に清掃を行いましょう。お手入れや作動確認は高い所で作業となりますので、十分気をつけてください。

また、交換期限を過ぎたものは本体の交換をオススメします。

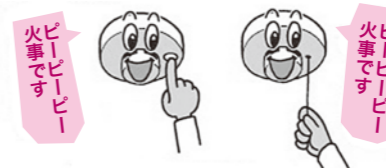


参考・資料提供 日本火災報知器工業会

※メーカーや機種によって違いがありますので、詳しくは取扱説明書をご確認ください！

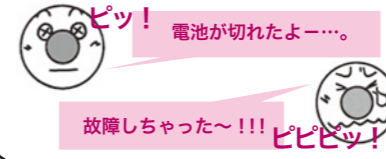
今すぐ作動点検を！！

●ボタンを押す、又はひもを引いて作動確認します。



●定期的に作動確認をしましょう。
●定期的に家族で火災時の警報音を聞いてみましょう。

住警器は火災以外でも鳴る場合があります。



住宅火災での逃げ遅れをなくすため、平成18年に設置が義務化された住宅用火災警報器(以下住警器)。自宅にまだ設置していない方はすぐに設置してください！また、設置してあるお宅でも注意が必要です。義務化から10年が経ち、年月を重ねた住警器は正常に作動しなくなっている可能性があります！

住宅用火災警報器を点検しましょう



古い消火器は危険です！！



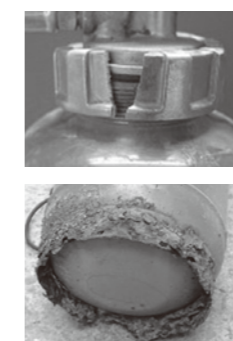
出火したときに、すぐに消火活動を行うことのできる頼もしい器具ですが、老朽化が原因で事故が発生しています。



平成21年 大阪府大阪市
自宅近くの駐車場に置いてあった消火器を男の子が触っていたところ、消火器が破裂し頭部を直撃。意識不明の重体となる。
平成25年 岡山県倉敷市
消火剤を放出させようと操作したところ、消火器が破裂し顔面を直撃、男性が負傷。

事故を防ぐために、消火器を点検しましょう。点検項目は次のとおりです。

- ①使用期限は過ぎていないか
消火器にも寿命があります。本体に明記されている使用期限を確認しましょう。
- ②本体に異常は見られないか
たとえ使用期限内であっても、いざという時に使えなくなっている場合もあります。本体のへこみ・変形や腐食、キャップの破損やホースの劣化がないかを確認します。



点検で異常があった消火器は絶対に使用せず、すぐに処分しましょう。
なお、処分は市や消防署では行っていません。消火器販売店や指定引取場所に相談してください。また、不法投棄も事故事例のような悲惨な事故を引き起こしかねないため、絶対にしないでください。

参考・資料提供元 消火器リサイクル推進センター

美濃 お手軽ビビンバ

消防士の仕事はスタミナ勝負！わたしたちは呼ばれたらすぐに出場しなければならないので、ご飯の準備には時間をかけていられません。でもおいしいものが食べたい！そんなときはお手軽ビビンバです！ガッツリ食べられるのでパワーもつきますし、とにかく簡単！みんなでホットプレートで囲んで食べるとよりおいしく感じますよ！



- 【材料】 ・ごはん ・ひき肉 ・ほうれん草 ・もやし ・にんじん (お好きなだけ)
 ・キムチ ・焼き肉のタレ ・コチュジャン ・チーズ
 ・卵 (生卵もしくは温泉卵)
 ・A[ごま油・鶏がらスープの素・塩] 《分量はお好みで！》

- ①もやしを茹で、Aで和えてナムルを作っておきます。
- ②ほうれん草・にんじんも茹でて食べやすい大きさに切っておきます。
- ③ひき肉を炒め、焼き肉のタレとコチュジャンで味付けをします。
- ④ホットプレートにごま油をひき、ご飯、その上ににんじん・ほうれん草・もやし・ひき肉・キムチ・チーズ・卵をのせます。
- ⑤蓋をして5分程置いたら完成！

みなさんもぜひお試しください！



武儀 減災講習

「減災」皆さんこの言葉を聞いたことはありますか？減災とは、災害が発生したときに被害を最小限にとどめるための取り組みで、普段から皆さんの真剣な訓練や備えを必要とします。



武儀出張所では、今年度から地域の住民の方を対象に減災講習を始めました。まず、座学で災害に対する知識を身につけてもらいます。その後の実技で、応急担架を使っての傷病者の搬送や倒壊家屋から人を救出する方法を体験してもらいます。



来るべき災害時の備えとして、地域の自助、共助を強化するために減災講習を受けてみませんか？時間や内容は、相談していたければご希望に添うように心掛けます。

まだまだ始めたばかりの講習ですが、所員も地域の皆さんと一緒に安全・安心な街づくりができるように、一丸となって頑張りますので、ぜひ受講してみてください！！

板取川 凍結防止実施中！

みなさん、防火水槽に浮いているこの袋が何かわかりますか？

実はこれ、防火水槽の水が凍っても消防車が水を吸えるように、凍らない水が入っています。(市役所で備蓄している融雪剤を混ぜて作った塩化カルシウム濃度6%の水溶液)この袋を吸管投入口付近に浮かべ、風などで動かないようフェンスに固定します。これにより吸管を投入するのに必要なスペースの凍結を防止することができます。この塩化カルシウム水溶液ですが、平均気温約マイナス10度でも凍らないというデータもあります。見つけてもゴミではないので、捨てないでくださいね。



洞戸 ビビビッ! 電波受信中~!!

皆さんはGPSをご存知ですか？

GPSとは「グローバル ポジショニング システム」の略で、人工衛星と電波交信し、現在地を測るシステムのことです。

いまや1人に1台となった、携帯電話やスマートフォンにはGPS機能が搭載されており、さまざまな分野で活用されています！

そのGPS、実は119番通報する時に役立ちます！例えば、山での事故は、目標となる物が少なく119番通報する側も、救助する側も場所の特定が難しいのです。知らない場所へ行った時もそうですね！

そこで、GPSを活用！助けを求める人の場所(緯度・経度)が分かれば、私たちは迷わず駆けつけることができます！洞戸出張所では山での事故にGPSを活用すべく、訓練を行っています！！



中濃消防 みらい隊 あれこれ 消防あ・ら・か・る・と

各署所のできごとを紹介します

関 「みらい隊」大活躍！

関消防署では、昨年11月に火災予防運動の一環として、大型ショッピングセンターへ出向し、みらい隊による火災予防の啓発活動を行いました。たくさんの方々が集まる中、みらい隊による楽しい幼児防火教育も大好評！大きな拍手をいただきました。

前回の消防だよりでも紹介があったみらい隊は、管内の幼稚園、保育園を中心に火災のとき自分の命を守る方法を子どもたちと一緒に勉強しています。これからも災害のない明るい未来のため、出動します！



津保川 極寒の街頭指導

秋の火災予防運動の一環として11月9日から15日までの一週間、朝7時30分から8時00分の通学時間帯に津保川出張所前の歩道に立ち、防火幟を持って街頭指導を実施しました。



出張所の前を通行する運転手の方々には頭を下げてくださり、通学中の子どもたちは「おはようございます！」と、寒さを感じさせないくらいの声であいさつをしてくれます。さすが「子どもは風の子」。子どもたちに負けてられませんね！

今回の街頭指導では、地域住民の方々ともふれあうことができ、実のある街頭指導を実施することができました。まだまだ寒い日が続きますが、火の取り扱いには十分気を付けてくださいね。

西 ひとりでも多くの命を守るため！

記憶に新しい東日本大震災。尊い命がたくさん犠牲になりました。そんな中でも、救助活動が功を奏し、助かった命もあります。

西分署は小さな消防署ですが、大災害時には大きな消防署に負けないくらいの隊員が揃っています！災害に備え、いろいろな訓練をしています。今回は震災で建物が倒壊した時の訓練風景を紹介いたします。建物が倒壊すると、それはそれは狭い空間に進入して救助をします。訓練では実際に倒壊した建物はないため、狭い空間を探すことから始まります(笑)今回見つけたのは、消防自動車の下！良い狭さですね。人は狭い空間に入ると恐怖心が芽生えるため、技術もさることながら心の訓練にも繋がります。

ひとりでも多くの命を救うため、日ごろから訓練を頑張っています！



武芸川 火の用心！

武芸川地域には保育園、幼稚園が各1園あり、春と秋の火災予防運動の期間中に防火パレードを実施しています。

昨年11月は、むげがわ保育園が防火パレードを実施しました。区間は八幡公民館から八幡神社参道を通り、武芸川事務所までの約700m。

今回はみらい隊と一緒に拍子木を打ち鳴らし「火の用心」と元気の声を上げて行進し、地域住民に火災予防を呼び掛けました。

